



国労石川

国鉄労働組合 石川県支部
発行人 大巻道秋
編集人 後藤通広
2022年3月28日 25-N0.16

和倉温泉駅

大幅にサービス低下！

無人化でなく駅員配置を

国労は、2022年3月ダイヤ改正に関する申し入れで、「和倉温泉駅の無人駅化はやめ、日勤1名を配置し、改札・案内・券売機締切り、清掃等の業務を行うよう」要求しました。しかし、金沢支社は、「常時和倉温泉駅に配置しなければならないとは考えていない」と回答し、ダイヤ改正時から無人化を実施しました。

七尾駅では、午前中に巡回を行い、2020M(サンダーバード20号)の案内対応と、券売機の締切り業務を行っていますが、かがり火号やサンダーバード号、花嫁のれん号の到着の時間は無人状態となっています。和倉温泉の玄関口である駅に「駅員がない」ということは、利便性の低下と、観光地のイメージ低下にもつながります。

また、「みどりの券売機プラス」を導入することによってより便利になると、言っていますが、特急の時間帯に、前売りでオペレータ操作の利用者がいれば、対応に10分から20分かかり、必要な乗車券や特急券を購入できないことも想定されます。コロナ禍の時は、比較的早くオペレータにつながりましたが、まん延防止が解除になり、利用者も増えて、多い時には30人から40人待ちの時間帯があります。利用者のストレスは増すばかりとなっています。

七尾線におけるIC化が行われましたが、和倉温泉駅から七尾駅間で普通列車に乗車する場合は、のと鉄道を利用するため、ICは使えません。駅員がいたときは、特急の時間帯以外は、カバーをして利用できないように工夫していました。しかし、駅員無配置のため、普通列車の利用者もICでタッチし、のと鉄道の車内で190円を運転士に支払い、七尾駅で発駅の取り消しを行い、金沢方面に向かう場合、再度七尾駅で入場のためのタッチを行っています。利用者からの苦情も増えています。

車いすの利用者も増えています。すべて、七尾駅からの対応となり、車での移動、待ち受け態勢などを考えると、かなりの時間がかかります。

国労は、異常時や車いすなどの波動業務もあり、要員を積み重ねていけば、1人工近くの計算となることから、1名日勤で配置することを強く求めています。



第93回メーデー 5月1日(日)

詳細が決まり次第連絡します。